

I 事業の目的

病害虫の防除を適時で経済的なものとするため、病害虫の発生、農作物の生育及び気象などの状況を調査して、病害虫の発生を予察し、それに基く情報を関係者に提供する。

II 事業実施の方針と概要

指定有害動植物に重点をおき、これらの病害虫の発生予察法の確立を図るとともに、農業普及部及び病害虫防除員などと連絡を密にし、確実な情報の収集に努め、発生予報、特殊報、注意報及びその他必要な情報をすみやかに提供して、適期防除による被害防止に努めた。また、県及び地区の農業振興協会とは絶えず緊密な連絡をとり、重要な病害虫の発生に際しては、その都度資料を提示して適切な対策について協議決定し、防除に万全を期した。

III 事業対象有害動植物の種類

1. 普通作物等

- | | | |
|--------|-----|---|
| 1) イネ | 指 定 | いもち病、紋枯病、ニカメイガ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類
(ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ)、イネミズゾウムシ、コブノメイガ |
| | 重 要 | 白葉枯病、苗立枯病、ばか苗病、ごま葉枯病 |
| 2) ムギ | 指 定 | うどんこ病、赤かび病 |
| | 重 要 | 赤さび病、小さび病 |
| 3) ダイズ | 指 定 | アブラムシ類、吸実性カメムシ類 (ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、アオクサカメムシ)、ハスモンヨトウ |

2. 果樹

- | | | |
|-------|-----|--|
| 1) ナシ | 指 定 | 黒斑病、黒星病、ハダニ類 (カンザワハダニ、ナミハダニ)、シンクイムシ類 (ナシヒメシンクイ、モモシンクイガ)、ハマキムシ類 (チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ) |
| 2) カキ | 指 定 | カキノヘタムシガ、ハマキムシ類 (チャノコカクモンハマキ、チャハマキ)、カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ) |
| | 重 要 | 炭疽病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、カキクダアザミウマ、フジコナカイガラムシ |

3. 野菜

- | | | |
|---------|-----|--|
| 1) キャベツ | 指 定 | 黒腐病、菌核病、アブラムシ類 (ダイコンアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、モモアカアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ |
| | 重 要 | 株腐病、シロイチモジヨトウ |
| 2) タマネギ | 指 定 | さび病 |
| | 重 要 | 白色疫病、灰色かび病、小菌核性腐敗病、べと病 |
| 3) イチゴ | 指 定 | 灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ |
| 4) キク | 指 定 | アブラムシ類 (ワタアブラムシ) |

IV 事業実施組織と本年度の実施方法

農作物有害動植物発生予察事業実施要綱、同要領に準拠する。

1. 病虫害防除所における予察事業担当者

職名	氏名	担当
科長	山本 淳	病害
専門研究員	磯田 淳	病害
〃	小塚 雅弘	虫害
〃	奈良井 祐隆	虫害
〃	塚本 俊秀	病害
主任研究員	澤村 信生	虫害
研究員	町田 清貴	虫害
〃	永島 進	病害

2. 病虫害防除員

水稻、果樹に関する病虫害防除員は本県の主要産地である市町村に配置している。水稻17名、果樹1名（カキ：益田市1名）。

3. 予察圃場設置一覧

1) 県予察圃場

種類	設置場所	品 種 等
イネ	出雲市芦渡町	コシヒカリ（5月11日移植）
ムギ	〃	あまぎ二条、農林61号、アサカゴールド
ナシ	〃	二十世紀（31年生樹）
カキ	〃	富有（31年生樹）

2) 地区予察圃場

種類	設置地点名
イネ	邑智郡川本町田窪404
イネ	浜田市周布町土井原30
ナシ	安来市中津町654-2
カキ	出雲市東福町

4. 予察灯・フェロモントラップ設置一覧

病虫害名	設置地点名	備考
ウンカ類	浜田市周布町土井原30	粘着誘殺灯
ニカメイチュウ	大田市久手町久手95	フェロモントラップ
モモシクイガ	安来市中津町654	フェロモントラップ
ナシヒメシクイ	安来市中津町654	フェロモントラップ
ヨトウガ類	益田市飯田町217	フェロモントラップ